

令和3年8月24日

市政記者クラブ 様

○調査テーマに関すること：

経済局商業・流通部地域商業課

担当：庵地・遠山（972-2428）

○調査概要に関すること：

スポーツ市民局市民生活部広聴課

担当：中根・千田（972-3140）

令和3年度第3回ネット・モニターアンケートの調査結果について

令和3年度第3回ネット・モニターアンケートの結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 調査テーマ：商店街について

商店街は、地域の買い物の場であることはもちろんですが、地域の伝統的なお祭りやイベントの開催、地域の安心・安全を守る取り組みなどを通じて地域コミュニティの中で重要な役割を担っていることから、名古屋市ではそうした商店街の取り組みに対して支援を行っています。

このアンケートは、市民の皆さまが市内の商店街の取り組みに対してどのような認識を持っているかをおたずねし、把握することで、今後の施策推進のため参考とさせていただきます。

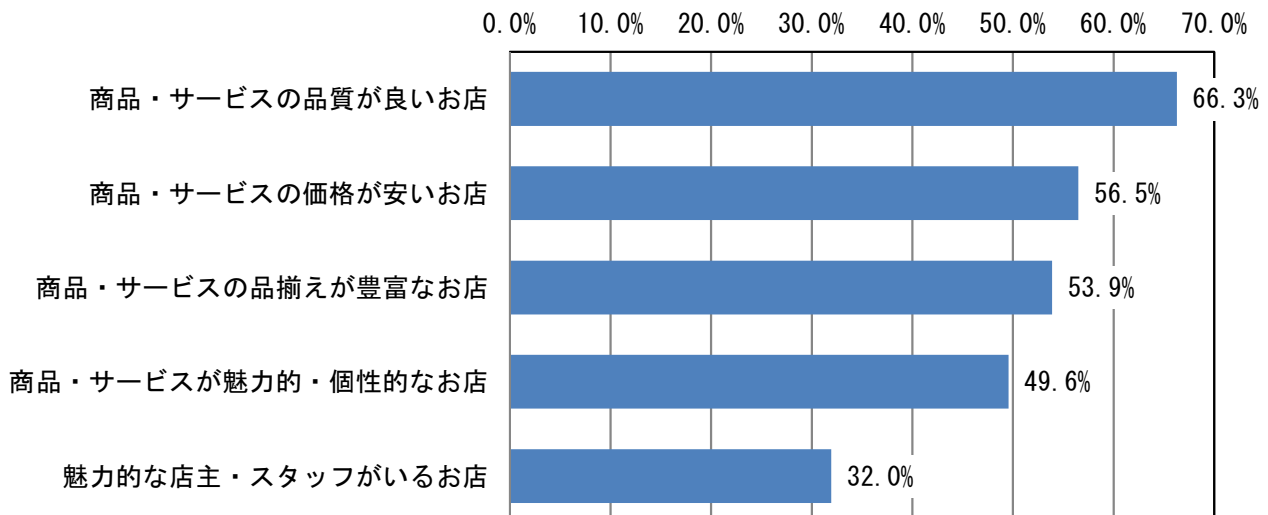
2 調査結果（抜粋）

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

■ 身近な商店街に増えて欲しいお店の特徴は「商品・サービスの品質が良いお店」が約7割（Q5）

身近な商店街（近くに商店街がない方は家の近く）に増えて欲しいと思うお店の特徴をたずねたところ、「商品・サービスの品質が良いお店」と答えた人が66.3%で最も多く、次いで「商品・サービスの価格が安いお店」56.5%、「商品・サービスの品揃えが豊富なお店」53.9%、「商品・サービスが魅力的・個性的なお店」49.6%の順でした。

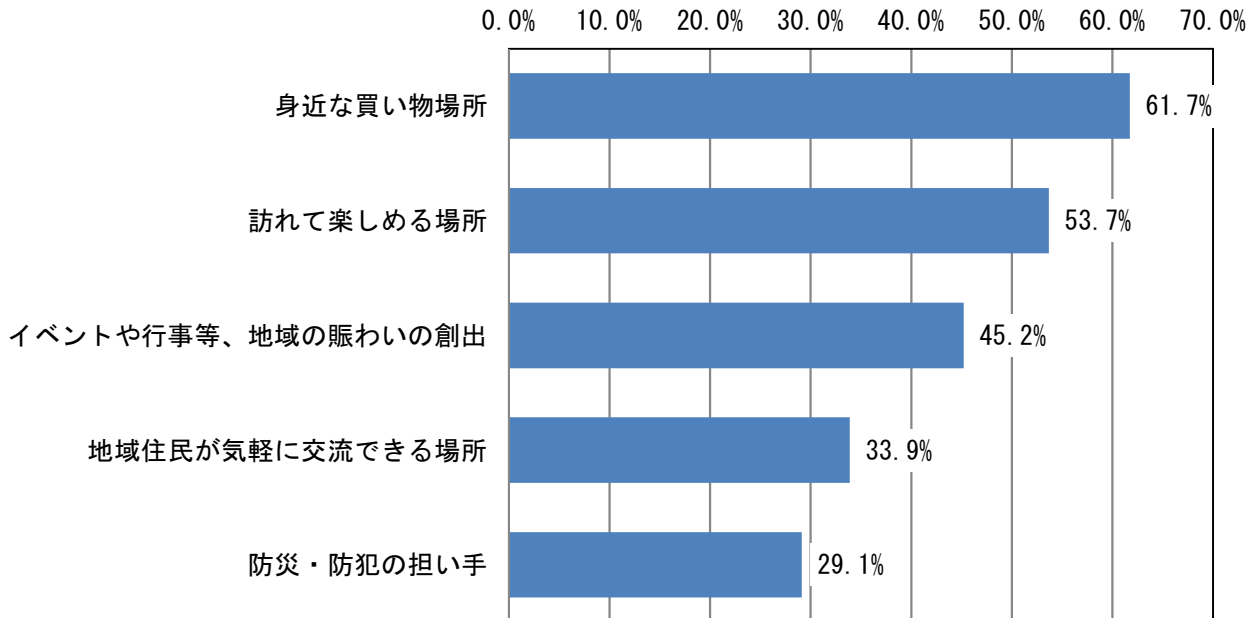
※8ある選択肢のうち、上位5項目を抽出 N=460



■ これからの商店街に期待することは「身近な買い物場所」が約6割（Q8）

これからの商店街に期待することはなにかたずねたところ、「身近な買い物場所」と答えた人が61.7%で最も多く、次いで「訪れて楽しめる場所」53.7%、「イベントや行事等、地域の賑わいの創出」45.2%の順でした。

※8ある選択肢のうち、上位5項目を抽出 N=460



3 調査概要

(1) ネット・モニターアンケート

500人の市民モニターを公募し、インターネットを活用した調査を実施するもので、今回は令和3年度の第3回目のアンケートです。

(2) 調査期間

令和3年7月30日（金）～8月9日（月）

(3) 調査方法

- ・対象：市内在住の18歳以上の方で、市政に関心のある方(公募)
- ・人数：500人
- ・調査方法：インターネットを通じてアンケートに回答
- ・回収率：調査対象500人に対して有効回収数460人
有効回収率 92.0%
- ・質問数：質問9問